本講座受講には、演習に使用する Windows PC が必須です。

スマート・ファクトリーのロードマップを描く

『マス・カスタム生産方式構築』

日　時／2024 年 12 月 2 日（月）, 3 日（火）
10:00～17:00
会　場／　東京・平河町近辺の会議室
受講料／日本ＩＥ協会・他地区ＩＥ協会会員
72,600 円
一般　88,000 円
日本生産性本部　賛助会員 83,600 円
（一名様につき　税込み・テキスト代込み）

講　師
㈱ＭＥマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・公認会計士
橋本 賢一 氏

マス・カスタマイゼ―ション：ビジネスで勝ち抜くしくみづくり

モノ作りに強いはずの日本の情報家電メーカーが欧米企業に遅れを取っている IoT（Internet of Things)が注目されていますが、**その深層を形成するパラダイムが高付加価値化、カスタム化、低価格を同時に実現する「マス・カスタマイゼーション」です。**

「マス」はマスプロダクションで量を追うことでコストを下げ、「カスタマイゼーション」は付加価値の高い製品を、顧客満足の多様性に合わせて提供することで、**大量生産と受注生産を両立**させるものです。それは「類似を集め、変化を後」というシンプルなコンセプトですが、その構築にはマーケティングから開発設計、生産技術、製造、生産管理がそれぞれ組織で取り組む課題があります。

本セミナーはその中から開発設計段階のモジュール設計を受けて生産技術段階のモジュール生産方式に焦点を当てます。設計の標準化を推進した後、生産段階の「マス・カスタム生産方式」でカスタム化、低価格化の成果を刈り取る実践法を学びます。

【プログラム詳細】

第１章　マス・カスタマイゼーション　―大量生産と個別受注生産の両立―
- 1-1 顧客ニーズとコモディティ化
- 1-2 コモディティ化の３つの要因
- 1-3 マス・カスタマイゼーションとは
- 1-4 マス・カスタマイゼーションの効果

第２章　設計モジュール化と生産効率化　―設計モジュール効果は生産段階で刈り取る―
- 2-1 モジュール化の推進
- 2-2 変化は一方向で逃げる
- 2-3 マス・カスタムに繋がる設計標準化
- 2-4 標準化は工程数・設備費削減等のＣＤ効果

第３章　マス・カスタムに最適な生産方式　―類似を集め、変化は後の生産方式―
- 3-1 何本のラインで生産したらよいか
- 3-2 類似を集め、変化は後の生産方式
- 3-3 同期化ラインの選定手順
- 3-4 マス・カスタム生産方式の実践

第４章　加工モジュールの設計　―工程と時間値の類似性を追求―
- 4-1 同期化の範囲の選択
- 4-2 同期加工ラインの設計
- 4-3 同期加工セルの設計
- 4-4 設備の同期化改善ポイント

第５章　組立モジュールの設計　―変化は最終工程、流通段階へ―
- 5-1 類似を集め変化は後の組立モジュール
- 5-2 組立モジュールの設計
- 5-3 混流生産と組立順序
- 5-4 自動車に見る組立モジュール

第６章　スマート・ファクトリーの展開　―迅速性・柔軟性をデジタルで対応―
- 6-1 内外製の分業形態
- 6-2 見込み生産と受注生産の併用
- 6-3 定期発注・ＭＲＰのロジック
- 6-4 定量発注・変動発注点管理

第７章　設計・工程設計のデジタルツイン　―３ＤＣＡＤからＢＯＭの作成まで―
- 7-1 ＣＩＭ・ＳＣＭ・ＶＣＭ・Iot の展開
- 7-2 デジタル・マニュファクチュアリング
- 7-3 製品・工程設計のデジタルツイン
- 7-4 材料・人・設備の物量資源管理

第８章　パフォーマンスのデジタルツイン　―人からデータで伝える IoT モノ作り―
- 8-1 ＭＥＳ:製造実行システム
- 8-2 人からデータが伝えるモノ作り
- 8-3 ロボティックスとＰＬＣ活用
- 8-4 スマート・ファクトリー支援機器

※演習で使う WindowsPC を準備願います

本講座は、講師がいる会場への来場・オンラインどちらでも受講できます。

講師紹介

㈱ＭＥマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・公認会計士　橋本　賢一　氏

公認会計士事務所を経て、日本能率協会コンサルティングに入り、原価革新や生産性向上のコンサルタントとして活躍。1985 年㈱MEマネジメントサービスを設立し、製造業を中心に、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を革新するコンサルティング活動を中心に行う。日本国内のみならず、中国・タイ・韓国などの海外でもコンサルティング活動を中心に活躍中。
著書は『見える化でわかる限界利益と付加価値』、『間接・サービス部門の原価管理』、『見える化でわかる売り値と買い値』、『よくわかる「ムダとり」の本』共に日刊工業新聞社。『正しい意思決定のための経済性工学の本』、『よくわかる原価のしくみ』共に日本能率協会マネジメントセンターなど多数。

お申込み

ホームページからお申込みください
https://www.j-ie.com/seminar

以下ご記入の上、このまま FAX にて
お申込みいただくこともできます
FAX 03-3511-4069

『マス・カスタム生産方式構築』　CJ21　12 月 2 日,3 日開催

■貴社名	■所在地（〒　　－　　氏名

	氏名	所属・役職	TEL/FAX	会場選択（○）
申込責任者	フリガナ	E-mail	TEL： FAX：	
参加者(1)	フリガナ	E-mail：	TEL： FAX：	集合　ON LINE
参加者(2)	フリガナ	E-mail:	TEL： FAX:	集合　ON LINE
合計【　　】名		参加費【　　円】		

お申込・お問合せ

日本インダストリアル・エンジニアリング協会
〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12
TEL 03-3511-4062　　FAX 03-3511-4069
E-mail　jiie@j-ie.com　　https://www.j-ie.com/

担当：
西村・青木

■キャンセル規定に関して■
申込受付け後、およそ開催日の 10 日前になりましたら、参加証（集合案内）、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。
[(注)※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。]
・開催日の７日前～前々日(開催日初日を含まず起算)：参加費の５０％
・開催日の前日および当日：参加費の全額(料金のご返金はできません)

個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印☒をお付けください。

☐　個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】　※日本ＩＥ協会と（公財）日本生産性本部は、2011 年 4 月に事業統合しました。
（公財）日本生産性本部・日本ＩＥ協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本ＩＥ協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。
1．利用目的：①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
②日本ＩＥ協会が主催･実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析･市場調査。
※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
2．個人情報の第三者提供について：法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。
但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
3．業務委託について：本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。（公財）日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
4．写真等の利用について：本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本ＩＥ協会の広報宣伝活動に使用する場合があります。
5．皆様の権利：個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。
その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本ＩＥ協会：03-3511-4062　　（公財）日本生産性本部　個人情報保護管理者　総務部長